

## 令和5年度 厚木西高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上(公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底)	教育公務員としての責任を自覚し、不祥事防止に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の職員会議後に不祥事防止研修を実施し、具体的な事例を通して懲戒処分等について説明するとともに、神奈川県教育委員会不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、教育公務員としての責任の自覚を深めた。</li> <li>・管理職との個別面談を行い、職員の状況を把握すると共に意識啓発を行った。</li> <li>・法令順守の意識の向上は、十分達成することができた。</li> </ul>
わいせつ・セクハラ行為の防止	① 連絡方法のルール徹底及び、密室化しないような環境整備 ② 未然防止	① ・職員啓発資料を用いて不祥事防止研修において、ルールの徹底及び全職員の意識喚起に努めた。 ・不適切な指導を予防、早期発見するため管理職が定期的に校内を巡視した。 ② ・職員、そして生徒に対しても注意喚起を行い、LINE等により連絡をとりあうことはしないことを徹底させた。 ・風通しの良い職場づくりをし、身近に相談できる雰囲気をつくることにより、未然防止に努めた。
定期試験、成績処理、進路関係書類に係る不適切な事務処理の防止	マニュアル等を厳守した適切な事務処理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務手帳の紛失を防ぐために、毎日、ロッカーの施錠を行い、返却されているか声掛けするとともに、確認を行った。</li> <li>・成績処理について点検方法に改良を加え、組織的な点検を徹底し、成績処理に係るミスを防いだ。</li> </ul>
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰や不適切な指導を未然に防ぐ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境美化及び、不適切な指導を予防、早期発見のため管理職が定期的に校内を巡視した。</li> <li>・人権の尊重について、体罰防止ガイドラインなどの資料をもとに人権意識を高めた。</li> <li>・体罰事案は起きなかった。</li> </ul>
生徒に係る個人情報扱う際の意識の再徹底	① 規定の整備 ② 個人情報の適正な取り扱い	① ・個人情報を扱う際のマニュアルを確認し、手続きの徹底を図った。個人情報の保護や電子媒体等の持ち出しについての管理の徹底を行った。 ② ・個人情報の取り扱いについては、複数名で確認を徹底し、適正さを十分判断出来るようにした。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故ゼロ 法令遵守の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自家用車で通勤している職員が多いため、時期を得た注意喚起に努めることにより、教育公務員としての自覚を職員に徹底するとともに交通法規に対する認識を高めた。</li> </ul>
会計事務等の適正な執行	① 私費会計の事故を未然に防止する ② 備品の現物照合の確認	① ・私費会計担当者のための研修会を実施した。 ・マニュアルの点検、整備を行った。 ② ・全職員体制で備品の現物照合を実施した。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、教育公務員としての責任の自覚を深めるとともに、当事者意識を高めることができた。新型コロナウイルス感染症は落ち着いたが感染症対策は引き続き必要な状況であり、心身ともにストレスが生じやすい状況は変わっていない。生徒、教職員ともに、心の隙間が不祥事につながると思われるため、生徒、教職員ともに心のケアは必要である。

令和6年度においても引き続き定期的な研修を実施し、当事者意識を持つよう注意喚起する。また、不祥事防止会議を定期的に行い、教職員による不祥事の未然防止、早期発見及び再発防止のための実効性のある対策や対応に取り組む。さらに、教職員お互いが気遣い、ことは掛けする環境づくりをするとともに、教職員の相互理解と管理職による状況の把握により、今後も不祥事ゼロで学校教育が進められるよう教職員の意識改革を行っていく。